

三月翠軒致仕の後、家を繼いで扈從頭になり、武公、哀公、烈公の三代に歴任し、清節をもつて自ら持してゐた。文武兩道を兼ね、殊に畫を好み始め林長羽に學び、後文晁の門に遊んで華山、椿山、靄厓とも親交があり、傍ら明清の畫風を尙んで、清新の畫體を拓いた。天保十年脚疾を患ひ、翌十一年五月二十日江戸小石川藩邸内で歿した。享年五十六。

美術研究所時報

美術懇話會は十一月十一日美術研究所に於て開催し、阿部孝次郎氏所藏の支那繪畫中の名品例へば伏生授經圖卷、五星二十八宿圖卷以下明清に至るまでの三十四點を選び、これを展觀し、正木直彦氏より、故阿部房次郎氏の本蒐集の由來、竝に各名品に關して談話があつた。續いて翌十二日は公開展觀をなしたるところ約二百名の參觀者を算した。

寄贈圖書

長井雲坪尺牘 一卷	正木直彦氏
平安老母 一冊	岡田久次郎氏
素明作品集 一冊	結城素明氏
昭和十四年版日本文化團體年鑑 一冊	日本文化中央聯盟
東方學報 京都第十冊第三分 一冊	東方文化研究所
紐育桑港萬國博覽會中間報告 一冊	紐育桑港萬國博覽會協會
國寶西明寺本堂及塔婆修理工事報告 一冊	
國寶建造物東大寺大湯屋法華堂北門修理工事報告書 一冊	

以上 文部省宗敎局保存課

寄贈雜誌

國寶	二ノ一〇	燒もの趣味	五ノ一〇
みづゑ	四一八	學校美術	一三ノ一〇
建築雜誌	五三ノ六五四、五	東洋學報	二六ノ四
汎工藝	一七ノ一〇、一一	美術世界	三ノ一一
文部時報	六六六、七、八	武者の小路	一五ノ一〇
書道	八ノ一〇、一一	美術日本	四ノ八
日本建築士	二五ノ二、三	美術評論	五ノ五
現代美術	七ノ一	國際建築	一五ノ九、一〇
美術殿	七ノ一〇	美術說	六四
史迹と美術	一〇ノ一〇	美術街	六ノ九
文藝學	七ノ一〇	教育美術	五ノ一〇
建築史	一ノ五	圖書と手工	二四二
美術術	一四ノ一〇	アトリエ	一六ノ一一
藝術資料	四ノ一	第一美術	四ノ一〇
思想	二〇九	美術之	一五ノ一〇
新建築	一五ノ九	畫室	六ノ一〇
美術作家	三	貨幣	二四七
最高美術	九ノ一〇	建築世界	三三ノ一〇
國際文化	六	海外之日本	一三ノ九
圖書館雜誌	二三九	畫觀	八ノ一一
南書鑑賞	八ノ九	東京美術	一七
工藝ニユース	八ノ一〇		
帝國圖書館報	三三ノ三、四		

Bulletin of the Metropolitan Museum of Art, Vol. 34, No. 9

Bulletin of the Detroit Institute of Arts, Vol. 18

Weltkunst, No. 34/35

Bulletin of the Art Institute of Chicago, Vol. 33, No. 5

Bulletin of the Cleveland Museum of Art, Vol. 26, No. 8